

鳥取県立美術館整備の取組状況について

令和2年2月20日
博 物 館

1 これまでの検討経緯

- 平成29年3月 鳥取県立美術館整備基本構想を策定
 平成30年5月 県有施設・資産有効活用戦略会議（BTO方式によるPFI手法の導入が有効）
 平成30年7月 鳥取県立美術館整備基本計画を策定
 平成30年11月 鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）を設置
 令和元年7月 入札公告
 令和2年1月 （9日）県民参加型公開プレゼンテーション・事業者ヒアリング
 （10日）審査会で最優秀提案を選定
 （15日）審査会の選定結果を踏まえ、落札者を決定・公表

2 事業計画（基本計画等）

(1) 事業用地

鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 外
敷地面積：17,983㎡

(2) 事業方式

PFI（BTO）方式

Build-Transfer-Operate の略。民間事業者が公共施設等を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う手法をいう。

(3) 業務範囲

・設計・建設業務 ・開館準備業務 ・維持管理業務 ・運営業務

(4) 事業期間

事業契約締結日から2040年3月31日（整備5年間、運営15年間 計20年間）

(5) 施設設備（諸室）の整備概要

展示	収蔵	教育普及 コミュニケーション	調査研究	共用事務 管理	合計
2,610㎡	2,070㎡	760㎡	290㎡	4,180㎡	9,910㎡

3 落札者

大和リースグループ（代表企業：大和リース（株）山陰営業所、
設計業務：（株）竹中工務店広島支店、（株）楨総合計画事務所）
（落札金額：14,265,981,372円 消費税及び地方消費税を含む）

4 提案内容

別紙「提案書概要版」のとおり

*入札参加者が、県民参加型公開プレゼンテーション用に公開に付しても差し支えない内容としてまとめたものです。

5 美術館整備局の設置

中部地域に美術館整備局を設置し、地元と連携しながら開館に向けた準備を進める。

6 今後のスケジュール

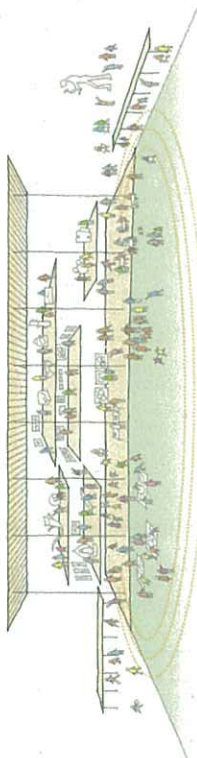
- 令和2年3月 ・事業本契約の締結（議決事項）
- 令和2年前半～ ・設計及び建設工事・開館準備
- 令和6年度中 ・開館

7 美術館開館に向けたソフト事業（令和2年度の計画案）

事業内容	内 容
「美術ラーニングセンター（仮称）」機能の充実に向けた検討事業	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル鑑賞教材の学校授業活用、小学生のバス招待、美術大学生による黒板ジャック、夏休み子ども企画展の開催等により美術に触れる機会の創出 ○小学校の新規採用教員研修及び小学校図画工作専門研修の開催（県教育センター主催） ○鳥取看護大学・短期大学との連携協定による大学授業での博物館（美術館）活用、対話型鑑賞ファシリテーター養成研修等の実施
「私たちの県民立美術館」普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「アートの種まきプロジェクト」として、美術館づくりを伝えるフリーペーパーの発行、アート系ワークショップの開催 ○地域団体等の活動支援 ○芸術・文化関係者とディスカッションを行う「ミュージアム・サロン」の開催 ○県立博物館の美術コレクションの展示・解説等を行う「コレクション宅配便」の開催
美術館等協力連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県ミュージアムネットワーク加盟の美術系文化施設の学芸員研修会、共同企画展の実施

空間と運営を一体的に捉えた取組み体制により、20年の事業期間を活かし『とっとりの未来をつくる』美術館の実現

- 県民が主役のアート活動拠点として、みんなのでつくる『とっとりアートプレイス』～みらいをつくる美術館を目指して～



● アートとの多彩な出会いがある空間

- ≫ とっとりらしさに包まれた居心地の良い美術館
- ≫ 立体回遊による多様な空間体験が創造性を喚起
- ≫ 歴史性・地域性を創造的に継承した姿

● 共に・集まり・つくるを誘発する運営

- ≫ 県と民間の協働による鳥取発の運営モデル
- ≫ 館内の様々な場所でアートに触れるしかけ
- ≫ 地域の持続的成長につながる美術館活動の展開

● 各分野で実績豊富な企業と県内有力企業によるチームで、永く親しまれる美術館を“共につくる”



県民の想いをかたちにする県民・地域プラットフォームの構築



倉吉の自然・風土・景観と調和し、周囲の環境と一体となった美術館



大御堂廃寺跡から見た美術館 人々の活動が主役となって美術館の姿を創り上げる

● 『とっとりの未来をつくる』美術館

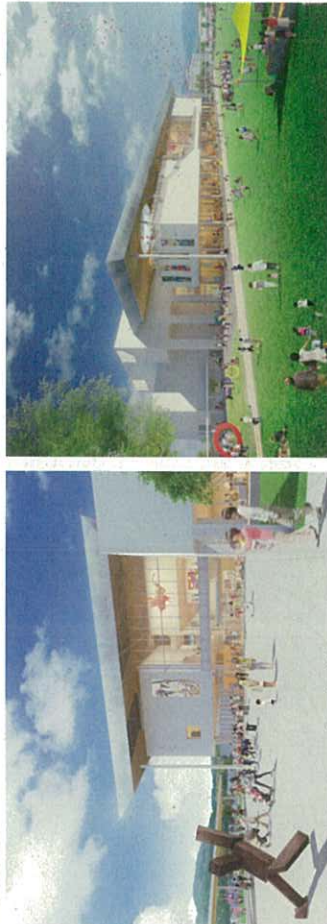
- ≫ ひとをつくり、育てる →ひとをつなぐ
- ≫ 心地よさ・交流・未来への人材の育成
- ≫ まちをつくり、育てる →まちをつなぐ
- ≫ 倉吉のまちづくり・美術館連携の拠点
- ≫ 文化をつくり、育てる →文化をつなぐ
- ≫ 自然、歴史、文化の継承と創造・発信



白壁土蔵群

大聖堂廃寺跡

打吹山長谷寺



大屋根とエントラープラザが大らかに人々を迎える

創作テラスから『ひろま』へと活動が広がる

⇒大屋根の下に様々な体験が立体的に展開する『ひろま』

とっとりから世界へ



今からみらいへ

2020事業契約締結

2022着工

2025竣工

2028開館

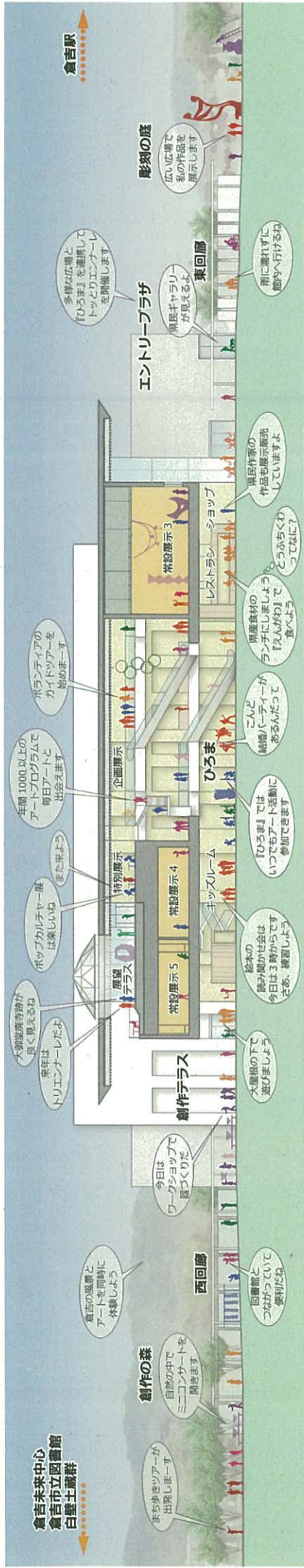
3周年

15年度目



「県内のあらゆる場所
アートが花開く、創造性と
活力に満ちた鳥取県」

「アートピアとっとり」の実現に向けて、市民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



● 毎日来て楽しい、何かと出会える美術館

- 1階から3階まで、無料で自由に入られる場所が広がります
- 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、「お気に入りの場所」「サードプレイス」としても利用できます

● 「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなでつくる美術館を両立します
- 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術館ラーニングセンターをより魅力的にします

● 県民の「あつたらしいな」でつくるアートな日常

- レストランは「アートコミュニティダイニング」として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- 食料や器に県産品を活用し、コンテンツ等で県民参加の機会をつくりたい
- ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- レストランでも様々なイベントを開催します



子どもたちとの創作ワークショップのイメージ



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催



鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展示会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます



独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高め、美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます

『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます。様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



ポップカルチャー展と運動したイベントも開催します



新しいアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ



県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくりたい

3年に一度、とっとりエンターレを開催して、美術館から街へとアートを広げていき、たくさんの人々を呼び込みます

『ひろま』はバフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

運営企業の多彩なポップカルチャー展の実績

運営企業が運営するサイトを広く発信